

羽村市議会議員

日本共産党

鈴木たくや 議会/活動報告 No. 5
2008. 6. 30

すずたくだより



事務所 富士見平1-4-1松沢コーポ101 電話080-1058-9450
ブログ <http://suztaku.blog.ocn.ne.jp> メール suztaku@ab.cyberhome.ne.jp

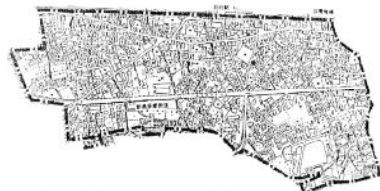
6月議会

みなさんこんにちは。鈴木たくやです。6月議会では、
①羽村駅西口区画整理 ②小中一貫校をとりあげました。
1時間の持ち時間、めいっぱい質問しました。

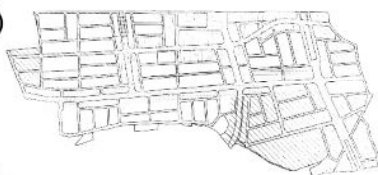


質問① 現実的でない「羽村駅西口区画整理」は見直しを

現在



計画



家を動かし、
道路・下水道を作り直し、
まっすぐに。

(写真はまちなみの一例です)

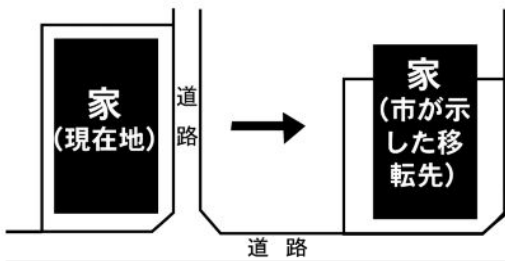
市の示した「設計図」(仮換地案)

—— 住民への驚くような負担

◆市は、羽村駅西口地区の住宅をどう移動してまちづくりをすすめるかの具体的な「設計図」を示しました。その中には驚くようなものがあります。

◆私がとりあげたのは、右図のケース。市は、長方形から正方形の土地へ移れ、というのですが、家が入らなくなってしまう。

家が入らない所へ引越し？



◆しかも、市は建て替え費用の一部しか補償せず、100万円ちかい精算金も請求するというのです。家を壊せというだけでなく、多額の自己負担をせよというのです。

お住まいのお年寄り「まだ住宅ローンがたっくさんあって、年金から払いながら細々と暮らしているのに！」と怒り心頭です。

◆市は、原則として、^ひき^や家（現在の住宅をひっぱって移動すること）でまちづくりをすると説明しています。しかし、私の質問に対し、全体の3割近くが、図のケースのように建て替えが必要になると見込んでいると、市は答弁しました。

◆住宅が立ちならぶ西口地区を、まっすぐの町並みに変えるという「区画整理」方式でのまちづくりが、いかに無謀な計画であるかがうきほりになっています。

◆「将来も住み続けていけるようなまちをつくらしていきたい」との市の答弁がおなしく議場に響きました。

目がとびでるほど金がかかる ——市民の暮らしにしわよせ

◆負担がおしつけられるのは、西口の住民だけではありません。市の計画は総額355億円もの巨費を投入することになっており、市民全体の暮らしにその「しわよせ」がくることとなります。

◆私は、市の負担が急激に増える平成24年からの5年間について、どうやって工事の資金を調達するのか質問しました。

◆市はこの期間に約56億円の借金をすること、

暮らしの予算が吸い取られる



西口開発の予算

5億円は、福祉カット？ 増税？



「一般会計」から毎年約7億円の資金を投入することを答弁。「一般会計」は、福祉・教育・子育てなど、日々の市民の暮らしを支える市のサイフです。現在はここから毎年、約2億円を西口区画整理に使っています。

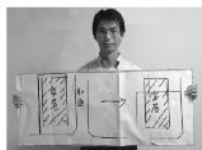
◆私は「増える5億円は、どこからもってこようと考えているのか？」と質問。

市はまともにお答えすることができませんでした。

◆結局、巨額の工事費は、福祉・教育・子育て支援などを削るか、「増税」をして捻出するかありません。少子・高齢化がすすみ、暮らしが大変な市民が増えるもと、いずれも無理な話です。

◆お金がかかりすぎる「区画整理」方式によるまちづくりは、市民全体の暮らしをも破壊することにつながります。

●市民からの「区画整理方式でなく、現状を生かした修復型まちづくりを」との提案に耳をかたむけ、現実的でない市の計画は、おおもとから見直すことが必要です。



議会ではこの図を示しながら質問しました

質問② 小中一貫校は父母・先生の声に十分にきいて検討を



武蔵野小学校

羽村学園に？



第3中学校

◆武蔵野小と3中をモデル校として「小中一貫校」を始めるという中間報告が出されました。「なぜ小中一貫校にするの？」という声をよくうかがいます。

市は、小学校と中学校をつなげて9年間の学校にすることで、「学力低下や不登校の解消」をしたいと説明しています。

◆すでに実施している品川区や三鷹市では、小学生と中学生の交流がすすんだり、中学校進学への不安が減る、などの効果があがっているようです。これはこれで大事なことだと思います。

◆しかし、さまざまな不安や問題もあります。今回は教育委員会がどういう方向で考えているのかを質問しました。

小中一貫校はもう決まったの？ ——「あくまでも中間報告」と

◆新聞では「小中一貫校2010年度開校へ」との報道がなされ、市民からは「いつの間に決まったの？羽村学園っていうんだって？」などの声も寄せられています。

◆市内の小中学校でおこなわれている二学期制。「十分な説明や議論なしに実施にうつされ、しかも効果がどうだったのかの検証はなされていない」と根強い疑問の声があります。

同じように、今回も教育委員会のトップダウンで事がすすめられてしまい、子ども・父母・先生がおきざりにされてしまうのでは？という危惧を感じます。

◆私は「市は『実施する・しない』も含めて、市民の声を聞いて検討し、判断していく考えか？」と質問しました。市は「あくまでも中間報告だと認識しております」と答弁し、市民や現場の先生の声聞きながら、検討を進めていく考えを示しました。

◆また、私は「どのように説明し、市民の声をきくのか？」と質問。市は、1学期中に武蔵野小・3中の教師とPTAへの説明会をおこなうことを答弁しました。

一貫校では先生が超多忙に！

◆三鷹市の一貫校では、先生の仕事が週に10時間から数十時間増えたと報告されています。今でも忙しい先生が、新しい仕組みづくりや会議のために時間がとられ、授業の準備が不足したり、子どもに対応する時間が削られてしまっただけでは本末転倒です。

◆「先生を増やす計画があるか？」と聞いた私の質問に対し「市独自の非常勤職員の配置についても、具体的な検討をしていく」と市は答弁しました。しかし、「どのくらいの配置になるのか？」との質問には明確に答えませんでした。



一貫校が学校間の格差を生んでしまうのでは？

◆中間報告では、モデル校での様子を見て、全学的に一貫教育を構築していく、としています。武蔵野小と3中は隣接しているため、連携はやりやすいでしょうが、1中、2中学区は学校同士に距離があるため、大変です。

◆また、学校選択制の導入も触れられていますが、人気校と不人気校が固定化したり、地域と学校のつながりを断ち切ったりと様々な弊害を生み出す危険があります。

◆私の「条件格差についてどう考えているのか？」との質問に、市は「(仮称)羽村学園は確かに一貫校に適していると考えますが、他の学校でも現在開発しているカリキュラムと同じものを使用できます」と答弁しました。

●これからの学校教育のあり方について、市民の知恵をみつめたより良いものとなるよう、声をあげていきます。また、教育予算をもっと増やし、少人数学級など教育条件の充実に力つくしていきます。

ほかにも 共産党市議団では6月議会でこんなテーマで質問しました。

- ・後期高齢者医療制度は廃止し、お年寄りが安心できる医療に
- ・緑地を残すために積極的な施策を
- ・原油高で経営が大変になっている業者への支援を

学童クラブの待機児解消すむ

富士見学童クラブで、指導員さんを1名増やし、入所待ちをしていた子ども9名全員が入れるようになりました。

子どもの人数が増えているため、新たな学童クラブを設置するなど、さらなる施策の充実にむけ頑張ります。



富士見学童クラブ



「後期高齢者医療制度を廃止に」の市民の声を否決に？ ——「署名」あつめ、廃止にむけて頑張ります

市民から市議会に「後期高齢者医療制度を廃止に」の陳情が出されました。私は中曽根元首相や野中広務元官房長官の発言も紹介しながら、可決すべきと討論しました。しかし、自民党系、公明党などの反対で否決に。



「現代のうばすて山」と言われる、このひどい制度を廃止するため、「署名活動」にとりこんでいます。

みなさんのご協力をぜひお願いいたします。

(080-1058-9450 鈴木までご連絡下さい)



中より

中曽根元首相も「至急、これは元に戻して、新しくもう一度考え直す。」と。